

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	631-03-01	
事務事業名		世界文化遺産登録推進連絡会議事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		市長公室 世界文化遺産推進室		連絡先	内線4405	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款	2 総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		項	1 総務管理費
					目	5 企画費
対象(誰を・何を)		①羽曳野市民・藤井寺市民 ②国内外からの来訪者				
目的(どうしたいか)		①古市古墳群の認知度向上及び地元の更なる機運醸成②来訪者の効率的・効果的な受入体制の整備など				
手段(事業内容)		古市古墳群のPRを行い、地元の更なる機運醸成を図っている。また、スムーズに国内外からの来訪者を受け入れるため、関係機関との協議や調整を図る。				

事業費

単位:千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	349	489	500
人件費	3,703	2,041	1,518
総事業費	4,052	2,530	2,018
うち市負担分	4,052	2,530	2,018

30年度決算主な内訳	
【事業費】	
印刷製本費	624千円
消耗品費	299千円
食糧費	4千円
通信運搬費	52千円
手数料	2千円
※羽曳野市の負担は2分の1 【特定財源】 なし	

活動指標

指標名	同会議開催回数	単位	回
指標の説明	来訪者対策や地元企業や市民に対する案件などが積み重なり会議の案件や開催数が増える。		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	3	1	3

成果指標

指標名	もずふる応援隊の団体隊員数(羽曳野市受付分)	単位	団体
指標の説明	藤井寺市、羽曳野市内で活動する団体が発起人となり、世界文化遺産登録に向けた地元の機運醸成を図るため、設立された「もずふる応援隊」の団体隊員数(累積)		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	162	183	200

参考数値	
もずふる応援隊の個人隊員数(羽曳野市受入分)	
29年度実績	1,788人
30年度実績	1,983人

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 今後、「百舌鳥・古市古墳群」の保存・保護、次世代への継承が最重要課題となる。そのうち、古市古墳群については、2市がバラバラに取り組むのではなく、古市古墳群として、整備計画に基づき、一体的に取り組むことが重要であり、今後本連絡会議の役割はさらに大きくなる。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		631-03-02	
事務事業名		世界文化遺産登録推進本部会議事務事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		市長公室 世界文化遺産推進室		連絡先 内線4402	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款 2 総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		項 1 総務管理費
					目 5 企画費
対象(誰を・何を)		百舌鳥・古市古墳群			
目的(どうしたいか)		百舌鳥・古市古墳群を世界文化遺産に登録する			
手段(事業内容)		大阪府、堺市、藤井寺市と羽曳野市の4者にて、イコモス現地調査や情報照会への対応・国内外での機運醸成活動・登録後を見据えた準備や調整などを実施			

事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	5,492	6,443	6,878
人件費	3,703	5,291	4,174
総事業費	9,195	11,734	11,052
うち市負担分	9,195	11,734	11,052

30年度決算主な内訳
【事業費】
総合調整事業費 1,453千円
学術検討・条件整備事業費 40,243千円
魅力創出・情報発信事業費 9,853千円
※羽曳野市の負担は8分の1
【特定財源】
なし

活動指標

指標名	同会議の開催回数	単位	回
指標の説明	本部会議及び幹事会を実施した件数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	13	10	14

成果指標

指標名	ウェブサイトアクセス数(セッション数)	単位	回
指標の説明	本部会議において作成しているウェブサイトのアクセス数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	100,846	129,872	200,000

参考数値

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 令和元年度に「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産に登録されたことにより、当初の目的は達成したものの、ユネスコ世界遺産委員会で出された追加的勧告に従って、遺産影響評価のしくみ作りや、定期的なモニタリングなど、地元自治体が一体となって取り組むべき課題は山積している。文化庁からも、「これからの取り組みが重要」と指摘されているところ。今後、より一層連携を強めた取り組みが求められている。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	631-04-01		
事務事業名		「百舌鳥・古市古墳群」周知啓発活動事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		市長公室 世界文化遺産推進室		連絡先	内線4402
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款 2 総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		項 1 総務管理費
					目 5 企画費
対象(誰を・何を)		市民ほか			
目的(どうしたいか)		市民への百舌鳥・古市古墳群の認知度向上及び更なる地元の機運醸成			
手段(事業内容)		イベントでのPRをはじめ、古市古墳群などの映像を活用しながら更なる認知度向上及び地元の機運醸成をはかる。			

事業費

単位:千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	2,827	4,936	3,090
人件費	8,147	7,407	7,683
総事業費	10,974	12,343	10,773
うち市負担分	10,974	12,343	10,773

30年度決算主な内訳
【事業費】 小学生向け副読本の印刷462千円 オリジナル年賀ハガキの作成 350千円 白鳥ドローン製作1,080千円 大型マルチディスプレイ 2,603千円 など 【特定財源】 なし

活動指標

指標名	世界遺産PR動画制作本数	単位	本
指標の説明	ドローンを使い上空から古墳を撮影。古墳ごとや学校別にPR動画を制作する(H29~)		
指標データ	29年度実績	73	
	30年度実績	0	
		令和元年度目標(見込)	0

参考数値

成果指標

指標名	世界遺産PR動画閲覧回数	単位	回
指標の説明	羽曳野市公式YOUTUBEチャンネルにアップした動画の閲覧回数(H29~)		
指標データ	29年度実績	17,302	
	30年度実績	11,177	
		令和元年度目標(見込)	150,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産に登録された、2019年の世界遺産委員会の追加勧告では、世界遺産となった資産の、地元住民も加わった保護・保存の仕組みづくりが求められている。 そのためには、住民のさらなる協力が必要である。その前提として、住民をはじめ、多くの方に、「百舌鳥・古市古墳群」の価値や魅力を知らせ、理解していただく必要があるため。従来の、支援してくださる方々との連携から、さらに広げていく必要がある。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	631-04-02	
事務事業名		来訪者受け入れ環境整備事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		市長公室 世界文化遺産推進室		連絡先	内線4402	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款	2 総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		項	1 総務管理費
					目	5 企画費
対象(誰を・何を)		羽曳野市民・国内外からの来訪者				
目的(どうしたいか)		世界遺産登録を契機に増加する、国内外からの来訪者を効果的・効率的に受け入れる				
手段(事業内容)		・外国からの来訪者にも対応できるよう、市内施設においてWi-Fiを整備するとともに、説明看板を中国語、韓国語にも対応できるようにする。・歩行者や車での来訪者のため誘導看板を設置する。・トイレ使用やマップ配布など協力してくれる店舗にステッカーを掲示してもらい、来訪者に周知する。				

事業費

単位:千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	5,429	12,920	2,225
人件費	6,665	9,448	6,071
総事業費	12,094	22,368	8,296
うち市負担分	9,607	16,014	7,211

30年度決算主な内訳
【事業費】 説明看板の多言語化 1,717千円 駐輪場整備 497千円 観光バス乗降場整備 2,441千円 歩行者用及び車両用誘導看板の設置 6,282千円
【特定財源】 府補助金 6,354千円

活動指標

指標名	OSAKA FREE WI-FI認証数	単位	本
指標の説明	峰塚公園管理棟内に設置したWi-Fiの認証数(H30.3~)		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	769	18,732	30,000

参考数値

成果指標

指標名	古墳動画視聴数(羽曳野市You Tubeチャンネル)	単位	回
指標の説明	応神天皇陵古墳外濠外堤 花畑前に設置した説明看板に貼付しているQRコードの動画視聴回数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	260	406	10,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 令和元年度に世界遺産となり、観光バス等で来訪される方の数が爆発的に増えている。この方たちへの対応として、バス駐車場やトイレの整備、案内の多言語化、ガイド施設の充実等の対策の拡充は急務である。 資産の保護・保全にとともに取り組んでいただく必要のある、地元住民の理解・協力を得るためにも、来訪者の滞留などによる近隣への迷惑になるような事態を避け、スムーズに周遊していただけるような対策が重要となっている。

令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		631-04-03	
事務事業名		古墳DEるるる開催事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		市長公室 世界文化遺産推進室		連絡先 内線4402	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款 2 総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		項 1 総務管理費
					目 5 企画費
対象(誰を・何を)		市民ほか			
目的(どうしたいか)		地域住民、特に今まで古墳に興味を示してこれなかった方々に、古墳群の価値を知り、愛着をもっていただくきっかけづくりのため。			
手段(事業内容)		企画段階からもずふる応援隊員とともに取り組み、市役所を会場として実施した。音楽演奏、古墳にまつわるグッズや食べ物の販売、勾玉づくりや古代衣装体験などの古墳時代体験、屋上からの見学、小学生の古墳学習の成果の展示などを実施、約700人の参加があった。			

事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	3,823	205	209
人件費	5,184	8,314	7,589
総事業費	9,007	8,519	7,798
うち市負担分	9,007	8,519	7,798

30年度決算主な内訳
【事業費】 チラシ、ポスター印刷 70千円 新聞折込広告 109千円
【特定財源】 なし

活動指標

指標名	講演会参加者数	単位	人数
指標の説明	講演会の参加者数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	560	0	0

参考数値

成果指標

指標名	イベント当日参加者数	単位	人数
指標の説明	イベント全体の参加者数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	2,700	700	3,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産となった、2019年世界遺産委員会の追加勧告では、世界遺産となった資産の、地元住民も加わった保護・保存の仕組みづくりが求められている。 そのためには、住民のさらなる協力が必要である。その前提として、住民をはじめ、多くの方に、「百舌鳥・古市古墳群」の価値や魅力を知らせ、理解していただく必要があるため。従来の、支援して下さる方々との連携から、さらに広げていく必要がある。 本事業は、従来古墳や世界遺産に興味・関心のない方々、とりわけ地元の子どもたちをターゲットに、「百舌鳥・古市古墳群」に興味、関心をもっていただき、応援していただくためのものである。また、市単独でなく、一般市民とともに取り組む本事業